

公益財団法人 資生堂子ども財団

2022年度

(2022年4月～2023年3月)

寄附報告書

公益財団法人 資生堂子ども財団は「すべての子どもが笑顔にあふれ、自分らしく輝く社会」の実現を目指し、社会的養護下で暮らす子どもたちへの高等教育進学支援として奨学金事業を運営しています。

いただいたご寄附は奨学金事業に使わせていただきます。

**2022年度は、
3,272,750円のご寄附
が寄せられました。**

資生堂子ども財団奨学金は、資生堂カメラファンドや株主優待、ホームページを通じたみなさまのご寄附によって成り立っています。温かいお気持ちに心より感謝申し上げます。今後とも資生堂子ども財団への応援をどうぞよろしくお願いいたします。



ご支援いただいている方々

✓ 資生堂カメラファンド


資生堂グループ従業員および社友からの寄附金によって、社会課題の解決に取り組むNPOやNGO団体を支援する社会貢献活動の一環として当財団を含む8団体に寄附をいただいています。2022年度は1,100名を超える社員および社友の方々からご支援いただきました。

✓ 株主優待（株式会社資生堂）

株式会社資生堂は、株主優待のメニューの一つとして当財団の奨学金制度への寄附コースを提供しています。そのコースを通じて2022年度は700名超の株主の方々にご支援いただきました。

✓ 奨学生応援サポーター

資生堂子ども財団はホームページから寄附を受け付けています。毎月定額でご支援いただく「奨学生応援サポーター」に加え、一回きりのご寄附も募集しています。



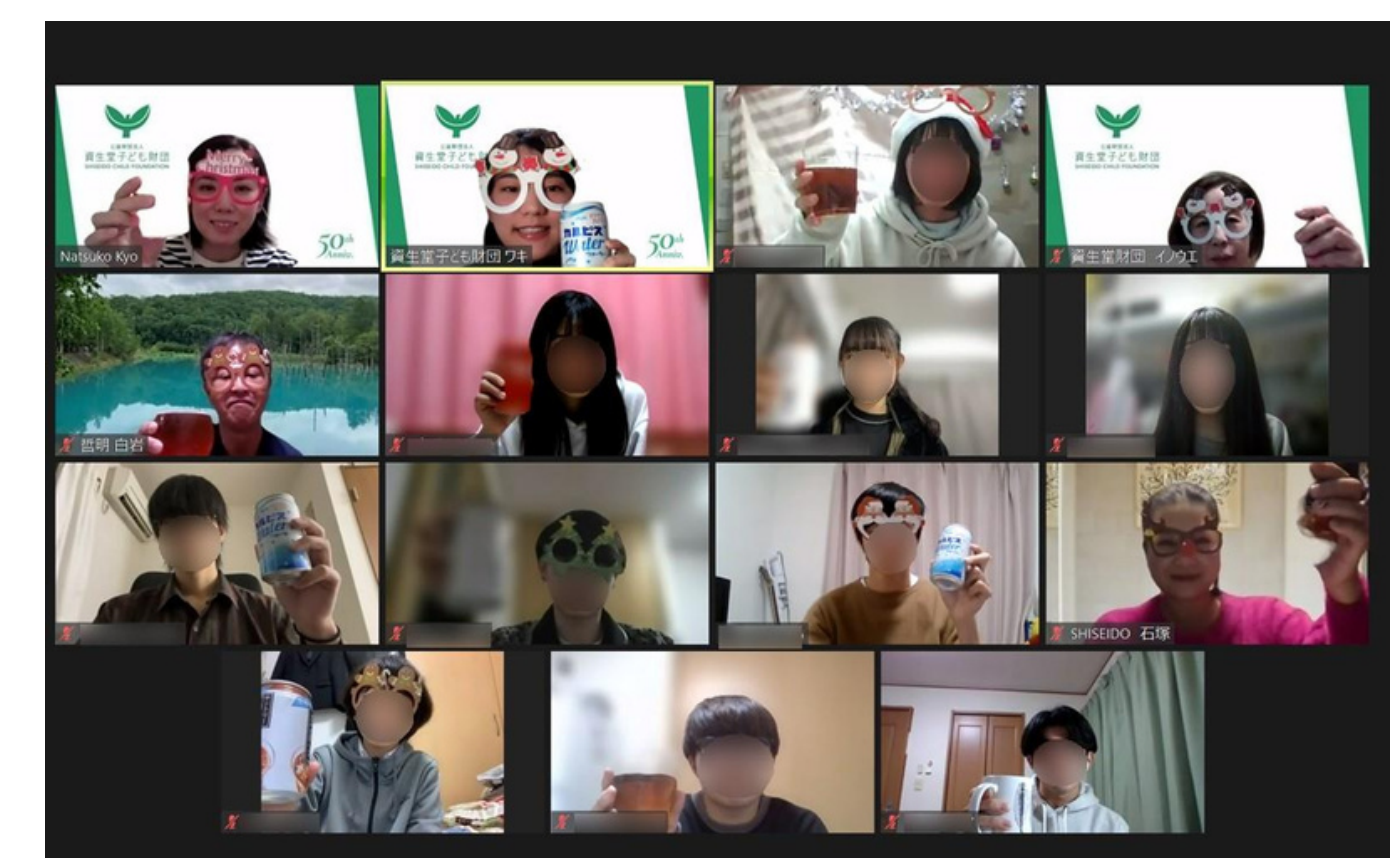
ご寄附の主な用途

毎月の奨学金給付

2022年度は、奨学生16名に年間50万円を定額（4月と10月は10万円、それ以外の月は3万円）で給付しました。文部科学省が実施する高等教育の修学支援新制度により入学金と授業料は減免されますが、依然として家賃や光熱費、実習や備品購入費などの生活費は奨学生に大きな負担となっています。みなさまにいただいたご寄附は、毎月の奨学生の生活の根本を支える大切なご支援になっています。

奨学生交流会の実施

奨学生の中には、慣れない一人暮らしによる寂しさや孤独を感じる人も少なくありません。奨学生同士、同じ境遇に身を置く仲間として互いに支え合う関係を築いてほしいとオンラインでの交流会を年に数回開催しています。2022年度は、新入生歓迎会（10月）・クリスマス交流会（12月）・年間活動報告会（3月）の計3回実施しました。



「ぎんざ通信」の送付



お盆や年末年始などの長期休暇に合わせて、暮らしに役立つ情報やメッセージと食品や日用品を詰め込んだ「ぎんざ通信」を送付しています。アルバイトや実習、資格取得のための勉強など忙しく過ごす奨学生たちに、栄養をつけて元気に過ごしてほしいという思いから始まりました。2022年度は、エバラ食品工業(株)さまや(株)資生堂などの企業から自社製品を寄贈いただきました。

2022年度 奨学金事業 概況

2022年度 新入生数
5名



2022年度 卒業生数
6名



在籍する奨学生は、児童養護施設職員や心理士、経営コンサルタント、システムエンジニアなどになりたいという夢や、UIデザインや行動経済学について学びたいという目標を持って日々頑張っています。交流会では「一人暮らしにも慣れ、自炊に力を入れている」、「後期に入り、成績が落ち込んでしまったので巻き返したい」、「3年生の終わりになって進路に悩み始めた。就職活動と国家試験に向けて頑張りたい」という声を聞かせてくれました。

3月に大学や短大を卒業した奨学生は、4月から幼稚園や児童養護施設、民間企業へ就職したり、働きながら専門学校へ進学したりするなど、自らの夢に向かって無事に巣立っていきました。

奨学生がいきいきと学生生活を送ることができるよう、今後もサポートしていきます。

卒業生 Mさんより

この度、多くの方々のご支援により、無事に卒業することが出来ました。大学入学に伴い、金銭面での不安がありました。資生堂子ども財団奨学金制度のおかげで友達と遊ぶことができ、検定や資格にも挑戦することができました。卒業後は、働きながら通信制の専門学校に通います。そして、将来は里子や施設で暮らしている子どもと関わる仕事に就けるようにこれからも精進します。本当にありがとうございました。

在籍生 Kさん(2年生)より

寄附者のみなさまへ、心から感謝申し上げます。奨学金のおかげで大学での教育を受け、新たな交わりや環境との出会いを経験することができています。去年の1年間は、学業に加えて部活やアルバイト、シドニーでの語学留学など、多岐にわたる活動を通じて充実した日々を過ごすことができました。特に留学経験は非英語圏からの同世代の留学生との共同生活や授業内での議論を通して考えや情報を共有することで、視野が広がり、新たな可能性を感じる事ができました。また最近では日々の中で交流の輪が広がっていることを実感しています。今後も常にオープンマインドな姿勢を持ち、人との繋がりや貴重な学生生活を大切にしながら、社会に貢献できる人財になることを目指して取り組んでいきたいです。



2023年度 奨学金事業について

2023年4月に新たに奨学生が7名仲間入りしました。2023年度は計17名の奨学生の夢の実現をサポートします。計3回の奨学生交流会と2回のぎんざ通信送付を予定しています。同時に、2024年度奨学生募集に向けても鋭意準備中です。変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

当財団ホームページを經由してご寄附いただいた方には、奨学金事業の様子をお届けするメールマガジンを送付します。資生堂カメラファンドもしくは株主優待からご寄附いただいた方でメールマガジンの送付をご希望の方は下記お問い合わせフォームまでご連絡ください。また配信停止を希望する方も同様のフォームよりご連絡ください。

[問い合わせフォームはこちら](#)

2023年度 奨学金応募者数
68名



2023年度 採用数
7名



<https://www.shiseido-zaidan.or.jp/>

資生堂子ども財団のその他の事業活動については、活動レポートやホームページにまとめていますのでご覧ください。

<https://www.facebook.com/zaidan.shiseido/>